事業場における倫理

中小企業の育成

あなたの地域社会における職業奉仕

職業技能訓練

職業技能の提供

就職相談

Rotary International

職業奉仕の紹介

もしも自分の職業技能を活用し向上させると同時に、失業者を減らしたり、地域経済を振興したり、青少年を実りある職業で成功する道へと導くことが出来るとしたら、皆さんはその機会に飛びつきますか？ 奉仕の理想に導かれたロータリアンとして、皆さんには職業奉仕を通じて地域にその様な意義ある変化を起こす力があるのです。

国連によれば、私達は今日、就業年齢者の10人に1人が十分な収入を得られる仕事を見つけられないという時代に生きています。学校では多くの若者が、教育が一体どのように職場での成功に影響するのかを理解しないままでいます。職業奉仕活動によって、皆さんは、皆さんの持つ専門知識や方向付けを必要としている勤勉な地域住民の生活の向上に重要な役割を果たすことが出来ます。個人指導、キャリア・デー、職業活動表彰、ビジネスの支援、若しくはご自分の仕事についてクラブ例会で話をするといった様々な形での職業奉仕活動への参加を通じて、皆さんの経験や知識は他の人達にとってもかけがえない情報源となるでしょう。

職業奉仕においては以下の3点に焦点が置かれています。

- 雇主、従業員、同僚、同業者、一般社会の公平な取り扱いを含む、全ての職業での最高度の道徳的水準の鼓吹と育成。
- 自分の職業や他のロータリアンの職業に限らない、あらゆる有用な職業の重要性の認識
- 皆さんの職業的才能による社会問題やニーズへの貢献

個人レベルからクラブ、職場、地域社会のレベルに至るまで、職業奉仕の範囲は幅広いものです。ここでの会員の役割は、ロータリーの基本方針に沿って個人としても、専門職に従事する職業人としても常に品位をもって振る舞い、ロータリー・クラブによって展開される奉仕事業に尽力することです。一方でクラブの果たすべき役割は、あらゆる職業分類に属する会員が職業上の才能を生かせるような事業の計画を通じて、地域内の雇用機会の増大、公平な職場環境の育成、職業に関する情報の増加を奨励することです。これらの役割が適切に果たされたならば、地域社会は幾重にもわたる利益を得ることになります。ロータリアンである雇主や従業員が道徳的に行動し、それが同僚、競争相手、そして顧客にも好ましい影響を与え、またロータイアン以外の人々を援助するクラブ・プロジェクトを通してロータリーの理念になじみの薄い人たちにも良い影響を及ぼすといった具合です。

本書は皆さんの地域で職業奉仕を行う際に参考として頂くために作成されました。本書では、職業奉仕の沿革、国際ロータリーの職業奉仕方針、職業奉仕プロジェクトの計画方法、職業奉仕の各小委員会の果たす役割、ロータリアンによる事業の成功例、そして皆さんにご利用頂ける資料や情報源について紹介しています。

沿革

職業奉仕はロータリー・クラブ設立のルーツともいえます。創立者である青年弁護士ポール・ハリスの元来の意図は、実業家や専門職者の交際の輪を形成することでした。殆ど全てのロータリー会員の入会決定の指針でもある職業分類基本方針は、各クラブの会員の事業及び専門職務が、その地域の事業や専門職を偏らずに反映するものとなるよう定めています。

1905年のロータリー創設以来、ロータリアンは常に高い職業倫理を重視してきました。

- 「ロータリーの綱領」の第2では、ロータリアンに事業及び専門職務の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること、を呼びかけています。
- 最初のロータリー・クラブであるシカゴ・ロータリー・クラブは、商取引の方法のための委員会を組織しました。
- 1910年に開催された第一回ロータリー大会では、シカゴ・ロータリー・クラブのアーサー・フレデリック・シェルドンがロータリーの標語の一つ、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を紹介しました。
- ロータリーの職業倫理規定は米国カリフォルニア州サンフランシスコで開かれた1915年の大会において採択され、それに続く大会では同規定を基にした基準と実践法の策定に関する会議が開かれました。
- 1943年国際ロータリー理事会は、1930年代にハーバートJ.テイラー1954-55年度国際ロータリー会長によって創案された、四つのテスト（詳細は25ページを参照）を職業奉仕の理想の公式要素と定めることを決議し、これによってロータリアンは職業奉仕の目標に達するための道具を得たといえます。四つのテストは個人や企業の行為が真実、公平さ、親善、品位のあるものかを評価する際の指標をロータリアンに提供しました。

ロータリー史の最初の80年余り、第2の奉仕部門、即ち職業奉仕は主にロータリアン一人一人の責任であり、各々のロータリアンが各自の職場で個人的な貢献を行うことが重視されていました。ですがロータリー・クラブは、ロータリアンがその専門技能や知識、ロータリー理念をより大きなコミュニティーと分け合う機会となる就職セミナーや職業訓練研修会等の主催を通じて、職業奉仕の定義を次第に拡張してきました。ロータリアンは喜んで自分のビジネス上の利益を超越して職業奉仕活動に尽くしたのです。この様な経過を経て1987年、40年ぶりに国際ロータ

よく聞かれる質問

問: 職業奉仕と社会奉仕、国際奉仕との違いは一体何なのか混乱してしまうのですが？

答: 職業奉仕は、社会奉仕や国際奉仕と重なる場合もあるために混乱を招くこともあります。職業奉仕は社会奉仕と同様に地域社会のニーズに応えるものですが、職業奉仕は特にその中でも実業及び専門職務、道徳的行為に関係したニーズに焦点を当てています。職業奉仕はまた、世界社会奉仕プロジェクトやロータリー・ボランティア、職業別親睦活動を通じて国際的な性格を持つこともあります。

問: 職業奉仕は実はロータリアンが自分自身の職業技能を磨くためだけのものではないですか？

答: 全くその様なことはありません。職業奉仕は、地域全体で道徳的水準を高め、あらゆる有用な職業は尊重すべきであるとの認識を深めようとするものです。ロータリアンは経営、監督・管理、マーケティング、金融・財務、危機管理、道徳的な業務の実施といった分野で大変豊富な専門技能や知識を持っています。職業奉仕を通じて、その様な技能や知識をより広いコミュニティーに分け合う事ができるのです。

問: ロータリー・クラブは単独で職業奉仕を行っているのですか？

答: そうとは限りません。協力によって一層大きな成果を生み出すことも可能です。1997年7月の国際ロータリー理事会では、奉仕の機会を一層拡げるためにロータリー・クラブが商工会議所との対話を確立し、適切な場合には、共同実施によって一層生産性の高まるような奉仕プロジェクトを企画するよう推奨する1991年の決議を再確認しました。

リー職業奉仕委員会が第2奉仕部門の再定義を行うために召集されました。委員会は新しい方針を提案し、同時に新しい委員会構造を創設しました。これらは同年、RI理事会によって採択され、職場及び地域社会での職業奉仕は公式にロータリアン各人そしてクラブの果たすべき責任となったのです。

1989年、規定審議会は「職業宣言」(26ページ参照）を採択しました。この宣言では、「ロータリーの綱領」に述べられた高度な道徳的水準を詳細に解説し、ロータリアンはこれによって、各自の職業倫理と、職業奉仕プロジェクトを通じて鼓吹しようとする道徳的水準を測定するための指標をまた一つ得たのです。

1990年代に入っての職業奉仕は、新たにロータリアンがその専門職技能を分け合う2つの機会が加えられて一層の発展をみました。1992年にはロータリー・ボランティア・プログラムが職業奉仕の傘下に入り、1993年には国際職業連絡グループと世界親睦活動とが合併してロータリー趣味・職業別親睦活動が形成されたのです。

職業奉仕プロジェクトの計画

第一の課題は、実施するプロジェクトが、奉仕を受ける地域社会と遊離しないようにすることです。効果的な職業奉仕プロジェクトを開発するにあたって、踏む手続が四つあります。

1. 得られる限りの情報源を使って、地域が本当に必要としているものを見極めること。
   最も効果的な職業奉仕活動は、プログラムの恩恵を受ける人が、ニーズを見極め、優先順位を決める作業に直接かかわることに重点を置いています。地域社会のためにではなく、地域社会と共に働く、ということによって、長期にわたる活動が定着する可能性が高まるのです。
2. 見極めたニーズに効果的に取組むプロジェクトを計画、遂行すること。
   職業奉仕の目標が何であれ、プロジェクトの効果を高める重要な要素がいくつかあります。充分に練り上げられた奉仕プロジェクトの特徴は：
   - 仮定のニーズではなく、実質的なニーズに応えます。
   - 具体的目標が明確です。
   - 開始日および完了日も含め日程について合意に達し、その日程を軸に計画されています。
   - プロジェクトの受益者となる人たちが立案課程に参加しています。
   - クラブの支援が途絶えても、継続できるような体制または技能を作り出します。
   - プロジェクトの成果を測ることができます。
   - 最大の成果を得るために、できる限り多くの人材や資金を集めます。
   - 連絡担当者を選んでいます。
3. こうしたプロジェクトを遂行するにあたり、クラブや地区のロータリアンの才能や専門知識、RIを通じて得られる各種の情報等を含むロータリー・資源を活用すること。
   本書の資料欄を参照してください。
4. 地域社会ぐるみでプロジェクトの目標を支援し、また、できる限りプロジェクトに参加するようにすること。
   ロータリアンの実施するプロジェクトを支援する地域住民が多ければ多いほど、それだけプロジェクトは、実を結ぶものと思われます。ほとんどの地域には各種事業団体や奉仕団体があり、地域の向上を支援したいと思っています。ロータリー・クラブは各種団体が共に力を合わせる推進役を務めることができます。

棚卸しを実施する

年度の始めに地区内の既存の資源を見直せば、優先順位を定めるのに役立つでしょう。また、現実的な目標を決める前に、クラブが以前に行った職業奉仕プロジェクトや、他のプロジェクトの機会を把握することも大切です。

1. どのような種類のプロジェクトをクラブで既に実施しましたか？
2. クラブにはインターアクト・クラブやローターアクト・クラブ、ロータリー地域奉仕共同隊のようなパートナーがありますか？
3. 職業問題を専門とするロータリアンは誰ですか？
4. 地域で職業開発に関与している他の団体はありますか？（業界団体、学校、非営利団体、公共施設、研修センター等）
5. 地域社会の緊急のニーズは何ですか？（失業、青少年職業情報、退職者の機会、就職相談、職業技能）

目標設定

職業奉仕の既存の資源とニーズを的確に把握したら、目標設定の用意が出来たといえます。ひとりひとりの活動、クラブの理解を深めること、地域プロジェクトなど、職業奉仕の方法は沢山あります。皆でアイデアを出し合いましょう。

目標について討議するとき、効果的な目標ということが重要です。効果的な目標とは、

- 成果を測れること
- 到達可能であること
- やりがいのあること
- 分かち合えるものであること

という要素を含みます。

成果を測れるということは、設定された目標を数字に置き換えられるということです。例えば、「若者に就職機会について知らせる」という目標より、「100人の学生のためにキャリア・デーを設ける」という目標の方が明快で効果的です。成果を測れる目標というものは、年度末に客観的に評価することができます。

到達可能ということは、目標が手持ちの資金力や人材から見て現実的であり、地区目標達成のために定めた期間内に達成を見込むことができる、ということです。

やりがいがあるということは、目標を達成する上で、皆さんと委員会委員による夢や理想、企画、チームワーク、努力、徹底的遂行が必要とされる、ということです。

分かち合うということは、目標の実施に当たる人々が、各目標の細部の計画に対して発言権がある、ということです。目標の設定に当たっては、特に、クラブ職業奉仕委員長を参加させてください。地区が職業奉仕で達成したい目標は何ですか？

目標設定に欠かすことの出来ない要素は、何をもって目標が達成されたとするかを決めることです。この判断はプロジェクト評価の際に行います。（以下の「プロジェクト評価」を参照してください。）

行動計画

既存の資源とニーズを検討して、効果的な目標を設定したら、行動計画を練る用意が整いました。目標を達成するための具体的手段を大まかに計画するのに、少し時間を取って下さい。目標を扱い易い要素に分割すると、各措置を誰が担当するか、どのような資源が必要か、どのくらいの時間を割り振るかなどを容易に決めることができるでしょう。各目標とその行動措置を列記してください。

効果的な行動には、意欲、熱意、事後の推進が必要です。ロータリアンはボランティアです。非常に熱心な人もいれば、それほど熱心でない人もいます。以下に、人々にやる気を起こさせる方法を挙げてみました。

- プロジェクトが地域社会にどのようなプラスの影響を与えるかというビジョンを提供します。
- プロジェクトにおける自分達の役割がいかに重要であるかを人々に示します。
- 業績をたたえます。
- 人々に責任を与えます。
- 効果的なチームづくりをします。

熱意というものは、行動を起こす鍵です。時間と努力をプロジェクトに捧げたなら、皆さんはプロジェクトが成功裏に終わるよう人々を励まし続けなければなりません。熱意をかきたてる方法として以下が挙げられます。

- あなたの職業奉仕プロジェクトの使命を定義します。
- 共通の目標設定に参加するよう要請します。
- なぜ今していることが必要なのかの理解を促します。
- 仕事と自分を一体化させるようにします。人々に自分のプロジェクトだと思わせるようにします。
- 努力が成功した場合、具体的かつ大いに称賛します。

事後の措置は、望ましい成果を得るうえで非常に重要です。それは現在の勢いを維持し、強化する方法です。事後の措置の例には次のようなものが含まれます。

- 電話でクラブ会員と連絡を取り合うこと
- 各種お知らせを送ること
- ボランティアにプロジェクトや任務の定期的評価を要請すること

効果的な委員会運営の鍵

1. 毎回その会合の議題について事前に委員に知らせておきましょう。
2. 会合で報告を行う会員に前もって個人的に連絡を取っておきましょう。
3. 会合は手短に、要所を押さえましょう。
4. 不必要な事務仕事は避けるべきです。
5. 委員全員が意見を述べる機会を持つようにしましょう。
6. 課題とそのフォローアップの記録を付けておきましょう。
7. 委員が役を降りる場合は、迅速に後任を決めましょう。
8. 委員を激励し、作業が完了した時には祝いの言葉を述べましょう。

広報

職業奉仕の計画と成功談について広報することは、地区内のロータリアンのやる気を起こし、熱意を高めるのに不可欠です。優れたロータリアンと職業奉仕プロジェクトを表彰するのも名案です。ロータリアンも他の地域住民も、ロータリーの職業奉仕活動の価値を目のあたりにしていますので、ロータリーのイメージもより向上します。現任の広報委員長と協力するとよいでしょう。あるいは、そのための委員を任命するとよいでしょう。

報道記事の原稿を書く際のコツ

1. そのプロジェクトの特にユニークで、大切で、知る価値のある部分はどこかを自問してみましょう
2. 第一段落で「誰が」、「何を」、「いつ」、「どこで」、「なぜ」に答えましょう。
3. 最も重要な点を最初に置き、簡略にまとめましょう。
4. すべての報道記事は余部をとっておきましょう。

報道記事の例は9ページにあります。プロジェクトの広報に関するより詳しい情報については、「*効果的な広報：ロータリー・クラブのための指針*（257-JA）」を参考にして下さい。

プロジェクトの評価

何が成功し、何が成功しなかったかを検討するために、いつもプロジェクトの目標は何だったかを心に留めておいて下さい。数値的目標を設定すべきなのはこの為です。例えば、識字率向上プロジェクトの効果を「10人に読み方を教えることは出来なかったけれど8人には教える事が出来た」と評価するといった具合です。評価を行う際には次のような点を検討して下さい。

- 設定した目標を達成しましたか？
- 途中で目標に変更がありましたか？
- どんな予想外の障害が生じましたか、また、どのようにそれに対処しましたか？
- 最も大きな成功を収めたのは何ですか？どのようにして成功しましたか？
- 新しい関心事、問題、人材や組織等、最初の棚卸しから変更がありましたか？

地区の職業奉仕活動を宣伝する方法として、試案をいくつか挙げます。

ロータリアン向けの広報として：

- 職業奉仕ニュースレターを発行したり、クラブの会報に職業奉仕に関する記事を掲載する
- 奉仕計画や成功談をクラブ例会で発表する
- 地区大会でプロジェクト展示を行う
- RIの出版物や資料への掲載用に報告を送る

一般向けの広報として：

- 報道用記事
- ポスター
- 学校や地域団体での発表

職業奉仕報道用記事の見本

（できれば、ロータリー・クラブの公式便箋を使用してください。）

連絡先：（あなたの名前と電話番号）

ロータリーの会員が青少年の求職活動を手伝う

（（県），（市町村）—（日付））青少年の就職の見込みと地元企業の今後の競争力について懸念を示す（クラブ名）ロータリー・クラブは、（日付）に（場所）で（行事名）を開催し、青少年に可能性のある職業について紹介する。ハイライトとして、（氏名）が（主題）についての講演を行い、（様々な水準の教育を必要とする職業を列記する）などの職業を代表するロータリー会員が出席する。

国連のデータによれば、今日、就労年齢者の10人に1人が、適切な賃金の得られる仕事を見つけられないでいる。さらに、多くの青少年は、教育が一体どのように仕事での成功に影響するのかを充分理解していない。これらの傾向に対し、地域社会の事業や専門職を広範に代表するロータリー会員は、個人指導、キャリア・デー、職業活動表彰、その他のビジネス支援について情報やビジネス教育を提供している。

ロータリー・クラブが青少年を援助

「（ロータリー・クラブ会長やその他のスポークスパーソンの言葉をここに引用する。）

。」

（クラブ名）ロータリー・クラブは、160カ国29,000クラブのグローバルな国際ロータリー・ネットワークの一部である。国際ロータリーは、専門職務に従事する120万人以上の男女から成り、会員は民間の指導者として、地元の社会で、また世界社会で生活の質を向上するためにボランティア奉仕をしている。ロータリー・クラブは、暴力、薬物濫用、エイズ、飢餓、環境、文盲、青少年の育成、国際交換など、今日の最も緊要な問題に対処するプログラムを支援している。

職業奉仕分野の小委員会

クラブ全体の努力を促進するために、職業奉仕委員会内に以下の5分野に対応する5つの小委員会を設けるようクラブに奨励しています。

- 職業情報
- 職業活動表彰
- 就職相談
- 職業指導
- ロータリー・ボランティア

職業情報

職業奉仕を始めるのにはまず、クラブの職業奉仕に対する理解を深めることが必要でしょう。私達のロータリークラブと地域の全ての職業は何ですか？社会の問題やニーズに私達の持つどの職業上の技能が役立てられますか？どのようにして周りの人々を誠実さ、品位、高度な道徳的水準に向けて努力するように奨励することが出来ますか？

この委員会はクラブとその会員の職業奉仕への理解を深める事に主眼を置くべきです。会員に、指導力の向上と日常生活での倫理意識向上を呼びかけることになります。

職業分類談話

職業分類談話はクラブ内での職業奉仕への理解を深める為に大変重要な役割を果たします。会員は、自分達の仕事以外の職業について、多様な問題や如何にしてその様な問題を解決するか等、学ぶ機会を得ます。またこの様な談話は就職相談小委員会にとっても特に価値あるものでしょう。なぜならば、談話を通してどの会員が就職指導プログラムで青少年の指導・相談が出来るかという情報が得られるからです。

最近の技術開発や社会や職場での変化に対応して新しく造り出された職業に就く会員によって興味深い話が聞けるかもしれません。また同様に、より伝統的な分野に就業する会員の話も、その様な変化がどのように彼らの職業に影響し、新しい状況に対応するためどのような措置をとったかを知るために有益でしょう。

主にクラブ会員が談話を行うことになるでしょうが、クラブ会員の中にはない特に興味深い職業があるかもしれません。ロータリアン以外の有資格の人たちからもその様な立場にいる人を捜し出して話をしてもらうよう依頼しましょう。

最も頻繁に利用される職業情報活動は以下の3つです。

- 職業分類談話
- 会員の事業所の見学
- グループ討議

会員の事業所見学

「ロータリー」という名は元々、会員が持ち回りで各自の事務所で集会を開いたことから付けられましたが、この慣行は今もロータリアンが自分の職業をクラブと分かち合うすばらしい伝統として残されています。実際、人前で話をするのが苦手な会員は、談話をするよりは自分の事業所を案内する方をはるかに好むかもしれません。

職場の大きさやクラブの人数によっては　時折会員の職場で会合を開くのも良いでしょう。見学ツアーには若い人たちにも是非参加してもらって下さい。就職に関する難しい決断も、特定の職業について直の知識を得ることで容易になるかもしれないからです。

グループ討議

グループ討議もまた職業奉仕への理解を深める効果的な方法です。異なった、しかしお互いに関連性のある職業、例えば都市計画専門家、建築家、ゼネコンからの代表者によるパネル討論会を開いてみてはどうでしょうか。パネル参加者はお互いの間での協力や摩擦について説明したり、一つの分野での変化がどのように他に影響するかについて討議できるでしょう。

また異なった分野からの代表者を募り、各自の事業もしくは専門職務が、異論のある特定問題にどのように対応したかについて討議をするのも興味深いかもしれません。議題として、大気汚染や水質汚濁、技術の進歩と人間のニーズの間の葛藤、製品検査や品質管理における道徳的責任、職場での物質濫用などが考えられるでしょう。

全会員の積極的な参加を募るには、小さなグループに班分けして、情報交換を行ったり、どのように彼らの専門職務や業界が管理職訓練や労使関係、有害廃棄物処理などの問題に対処しているかといった話題を割り当てることも可能です。

■ *職業奉仕プロジェクトの例*

— 釧路北ロータリー・クラブの朝食勉強会は、四つのテストに対する理解の推進や定例職場訪問、高校生向けの職業講演プログラム等の計画活動を職業奉仕月間である10月に集中的に行いました。

— 米国カリフォルニア州の第5240地区では、PRLS（ロータリー指導者候補の為のセミナー）で地区の指導力強化を行いました。合計8時間に渡るセミナーでは、効果的な職業奉仕活動に欠かせない、人前での話し方やグループによる指導力に焦点を当て、ロータリーのリーダーシップの全面をカバーしました。地区内の多くのクラブはPRLS修了を役員就任の前提条件としました。

— ケニヤのモンバサ・ローターアクト・クラブでは、合成毛糸工場を見学し、ローターアクターは重合体が加熱され、繊維に分けられ、糸状に編まれて加工される工程について学びました。

職業活動表彰

職業上の美徳を奨励し、高度な道徳的水準の実践に導く上で重要かつ効果的な方法は、その様な活動を表彰することですが、それは、優秀な個人や団体に表彰状を贈呈する事で可能になります。ロータリアンと非ロータリアンの双方を受賞の対象とし、その功績が大変な努力によって到達されたものでも、単なる思いやり深い行為でも構いません。授賞式はクラブ例会での非公式な表彰からパーティーや祝典のようなより大がかりなものまで様々な形式が考えられます。

表彰プログラムの開発

1. どのような賞にしますか？
   毎年、定期、特例？
   授与される賞はいくつですか？
   受賞対象は誰ですか？（例：学生、特定の職業に就く人、業種に関係なく優秀な人）
   賞品は何ですか？（例：盾、賞金、補助金/奨学金、寄付）
2. 賞の選考基準は何ですか？
   倫理観または四つのテスト
   超我の奉仕の理想
   特定の業績
3. プログラムの資金をどこに求めますか？
   クラブ/地区の資金
   企業の後援
   恒久的な基金
4. だれに推薦を頼みますか
   地域全体
   業界/特定業種
   学校
   クラブ会員/委員の推薦
5. どのような選考過程を踏みますか？
   推薦は何人受け入れますか？
   推薦の期限はいつですか？
   クラブ会員の選考委員会
6. 表彰式はどのような形で行いますか？
   ロータリー・クラブでの授与
   地区会合での授与
   受賞者の学校や職場での授与
   パーティー

アドバイス

- 皆さんのクラブを参加させてください。
- 委員会を任命してください。任務を委ねることによって、仕事確実に完了します。
- 表彰は報道してください。報道用記事を書いたり、報道機関を招待したりします。

プロジェクトのアイディア

— 環境意識の高い組織を称賛する。

— 自分の職務で、超我の奉仕を実践する個人（ロータリアンである無しにかかわらず）を称賛する。

— 職業訓練について地域の組織の活動を表彰する。

プロジェクトの例

— オーストラリアの多くのロータリー・クラブでは、Pride of Workmanship Awardsを後援しています。この賞は各自の仕事への取組み、態度において特に秀でた献身的従業員に対して雇主が与えるものです。1975年以来、ペナント・ヒルズ・ロータリー・クラブを始めとする第9680地区はPride of Workmanship Awardsのガイドラインと賞品の盾を作ってきました。オーストラリアの数地区で、現在この賞が与えられています。

— 第6440地区（米国イリノイ州）は、中等教育修了後の教育機会を職業奨学金の形で提供しています。このプログラムの目標は、4年の学士課程未満（たとえば2年の准学士課程）を要求する職業に従事しようとしている地区の青年男女に機会を提供し、彼らがその職業に就いて、生産的になるようにすることです。この奨学金は、認可学校で職業課程または認証プログラムに入学する正規の学生に授与され、授業料、諸費、書籍代、道具代、材料費に充てられます。

— 第3130地区（インドのマハーラーシュトラ）産業安全委員会と地区内の数クラブは、産業安全週間を企画して、職場での安全策の実践を推進しました。約650人の労働者がこの研修会に出席し、安全と事故防止の重要性を学びました。労使関係の良好な工場や、産業安全策を実践する工場は表彰を受けました。

就職相談

意義のある仕事をしよう、仕事で成功しよう、と努力する人は誰でも、職業上の技能をさらに向上する余地があるものです。仕事を始めてから日の浅い人もいれば、技術のめまぐるしい変化についていくために継続的な訓練を必要とする人もいます。また、充分な訓練を一度も受けたことがなく、そのために有意義な仕事や、長続きする仕事を見つけられない人もいます。ロータリアンほど、有用な仕事を行なうことから得られる満足感を知っている人はいません。自分自身やその家族を養うことができない、またはその用意ができていないために、世界中で多くの人々がこの満足感を得られないでいます。

青少年のための職業情報

ある職業に就くために、まずどんな手順を踏むかというのは、大変難しい問題です。指導的立場にある、経験豊かな実業家・専門職者として、ロータリアンは職業についての情報を青少年に提供し、仕事を始める準備の手伝いし、異なる業種での短期実習機会を提供し、そうしながら倫理的な振る舞いの重要性を強調する独特な立場にあるといえます。

職業相談会の企画

以下は、多くのクラブが使用する計画の概要で、皆さんのクラブのニーズや関心に合わせて調整することができます。

1. クラブの例会で計画を説明し、クラブ会員から各自の職業に関するコンサルタントを務めてくれる人を募集する。クラブにない職種については、地域社会の他の団体から探すこと。
2. 学校の担当責任者と協議する。学生の参加資格、物理的設定、会議の広報などの詳細を話し合う。教師やカウンセラーとも会い、ボランティア援助を頼む。彼らの協力は、会議の成功に不可欠である。
3. 会議の組織にインターアクターやローターアクターの援助を求めることを検討する。
4. 有資格の学生に職種リストを回し、各自で関心のある2種に印をつけてもらう。
5. 特定の日時に、有資格の学生（とその親）を学校に集まるよう招待する。基調演説者やコンサルタントの名入りの魅力的なプログラムを作成する。
6. 深い感銘を与えるような全員参加の会合で会議を開会する。
7. そのような会合の後、職業分野別にグループに分かれる。各グループにはその分野について知識のあるロータリアンやその他のボランティアを配置する。教師やコンサルタントが各グループの司会を務めるようにする。司会は専門家を紹介し、専門家の談話に続く質疑応答の時間を担当する。
8. 事後の徹底化と評価（質問書、フィードバック・フォーラム、その他を通じての）は、今後このような会合を開くに当たって役立つものとなる。

個人指導

個人指導は社会の階級や人種の間の障壁を解消し、指導者と青少年の双方に相互理解と成長を促すものです。個人指導は、他人への投資であり、創造性、生産性、人間関係を育む無限の可能性を秘めています。

多くの青少年は、自分のことを思いやる大人の存在を欠いてきました。貧困、離婚、物質濫用、暴力などの諸問題を抱えた家庭の出身です。学校の教師やカウンセラーは、同様の状況の家庭から来る他の多くの生徒の世話をするという過度の負担のために、いつも援助を差し伸べることはできません。個人指導プログラムは、どうしても目を向けてもらうことが必要な子供たちの生活に大人の存在をもたらすものです。1対1の思いやりの関係は、青少年の人生に深い影響を与え、彼らの将来を直接的に左右します。

個人指導者の役割はいくつかあります。

- 青少年が新しい職業体験を始める時に励ましを与える社会的支援者・アドバイザー
- 模範的な振舞いを実証するほか、強固な職業倫理を奨励して、将来の成功や幸福の確率を高める価値観を提供する良きお手本
- 青少年が自分のもてる最大限の能力を発揮してより多くを達成できるように励まし、チャレンジする人
- 学習機会を与え、自分の人生経験を知識として提供する教師・指導者

個人指導者として成功を収める鍵：

- 相手の言うことを進んで聞く態度を見せ、できるだけ批判的に映らないようにすること
- 個人的な熱意を維持すること。
- 敬意を示し、知りたいという意欲を見せること。
- 自分らしく振る舞うことを忘れない。私たちは、時には、若者に近づこうとして若者の流行言葉を使ったりします。これが意図するところは良いのですが、若者たちは見かけを見抜けるため、自分らしく振る舞わない人間を信頼しにくく感じるかもしれません。

プロジェクトのアイディア

— 模擬就職面接試験を行い、面接を受ける青少年の技能を磨く。

— ロータリアンが各自の職業とその職業への道のりを説明する「職業パンフレット」を作成し、配布する。

— 個人指導プログラムを地元の高校やコミュニティー・カレッジに設立する。

プロジェクトの例

— オーストラリア、クイーンズランド州第9640地区のロータリー・クラブとローターアクト・クラブの後援するロータリー青少年移行セミナーは、テレビなど現代社会の娯楽から隔離された開催地で毎年12月に開かれる6日間のキャンプです。このセミナーは、学校から労働へ、または高等教育への移行をできる限り成功裏に行なうための技能を社会の普通の青少年に提供することを目的としています。ここで扱われる技能とは、人前での話し方から目標設定や時間管理の効果的な活用に及びます。言葉以外のコミュニケーションや道徳問題についての討議も、このプログラムの極めて重要な部分を成します。

— 米国オレゴン州ビーバートンのビーバートン・サンライズ・ロータリー・クラブは、普通の学校制度では授業についていけない男子生徒のための居住型グループ・ホームであるコーデロ・ハウスを後援しています。居住者は挙動や勉強の面、および社会的な面で問題を持っているのが普通です。ロータリアンは「職業説明の夕べ」を企画し、そこで各居住者はロータリアンと1対1で30分ずつ専門職について話すことができました。ここで話し合われた職業には、不動産鑑定、検眼、税金の集金、会計、教育、軍隊、ジャーナリズム、臨

時雇用などが含まれます。少年たちが各自の求職活動でどのような手続きを踏んだかを検討するために、フォローアップの訪問が予定されました。

— アチーバーズ・インターナショナルは、スコットランドで始まったロータリー活動で、青少年に進取、発明、創造の気性を育み、彼らの地域社会に将来益するよう、国際的なコミュニケーションやビジネスの技能を身につけるよう奨励することを目的としています。英国の学校は五大陸中の学校とリンクされています。海外のパートナーの学校を相手に地場製品を輸出入する国際貿易企業をこれらの学校は形成しています。

職業技能訓練と情報

現在就職していても無職でも、誰でも技能向上や新しい技能の習得のための訓練を活用できるでしょう。現代のめまぐるしく変化する社会・経済では、知識は生鮮食品のように長持ちしません。今日学んだことは、明日には時代遅れになったり、無用になったりします。変化に置いてきぼりにされるのでなく、変化と歩調を合わせたり、または変化の歩調を定める者となるには、私たちは知識を永久に刷新・更新する必要があります。

■ *プロジェクトのアイディア*

— 苦労している企業家が事業経営の専門知識を学べるような中小企業向けのセミナーを組織する。

— 職業学校に奨学金を与える。

— 各自の地域社会の成人向け教育プログラムについて調査し、それが解雇労働者のニーズを満たすものか判断する。充分でないと判断した場合、学校と協力して、新しい教科課程を開発する。

■ *プロジェクトの例*

— インドネシアのスマラン・クンティ・ロータリー・クラブは、鮮魚の保存についての研修を提供することによって、アタウロ島というティモール海の小島の村人たちを援助しました。この島の多くの住民は漁師ですが、魚を保存する技能がないために、漁で収入を得られないことがよくあります。米国アラスカ州コディアク・ロータリー・クラブとコディアク・モーニング・ロータリー・クラブの援助とロータリー財団の同額補助金により、ロータリアンは市場に送る鮮魚を準備するための建物を建築し、地元の女性に保存技法を指導しました。この技能は家庭の収入を大きく増し、女性の経済的役割を高める上で役立ちました。

— 第5890地区（米国テキサス州）のロータリアンは、著名な経営管理者のグループをハンガリーとポーランドに派遣する自由企業セミナーを組織しました。経営管理者たちはこの二国の主要都市を訪れ、経営、マーケティング、営業、コンピューター、会計、事業計画の作成、財務についてプレセンテーションを行いました。誰でも参加でき、入場料は低く抑えられ、事業経営に関心のある人は誰でも必要な情報を得られるように配慮されていました。

— 第3300地区（マレーシア）はリハビリテーション・センターで薬物中毒者にベーカリーの経営を訓練するプロジェクトを設立しました。ここで訓練を受けた人々はプログラム修了後に地元のベーカリーチェーン店での就職が約束されていました。間もなく、ロータリー・ベーカリーは同センターの居住者1,200人のためにパンや菓子を製造し始めました。余剰品は一般向けに販売されました。

職業指導

職場は肯定的な場であるべきです。ロータリアンは各自の職場を向上し、他にも同じことを奨励する経験と知識を持っています。求職者を援助し、資本を得ることが出来ない中小企業にローンを行い、従業員に健康と教養を保つよう指導し、高齢者と障害者が意義のある仕事を見つけられるよう手伝うという目的は、すべて職業指導の項目に入ります。そして、これらがロータリーの高度の道徳的水準を伴う時、労働者に活気のある生産的な気分を与えることになります。

失業率の削減

失業率と不完全就業率の高さは、人的資源の浪費であり、貧困を悪化させ、時には社会の不統合につながります。発展途上国では、問題は、労働者の訓練不足と、大規模な雇主の欠如に由来しており、これらが、貿易や雇用や教育に影響する国の一部政策によって助長されている状態です。産業国では経済的・政治的ショックが失業率を左右します。しかも、圧倒的な技術変革、移民、輸入品などが、教育を充分受けていない労働者の立場を難しくしています。若者も高齢者も、仕事がない状況にやむなく追い込まれている状況です。新しい職を探すのは時間がかかったり、精神的に疲れたりしますが、ロータリー・ネットワークその他、地域社会に人脈のあるロータリアンは彼らを手伝うことができます。

プロジェクトのアイディア

— 各自の地域社会が独自の経済開発協議会を結成するための援助をする。

— 地元の工芸家に製品をマーケティングする援助を提供する。

— 企業が新しい従業員を募集できるような職業見本市を企画する。

プロジェクトの例

— インド、マハーラーシュトラのThane Kalweロータリー・クラブでは、無職の青少年と、雇主となりうる企業との間の調整を行い、また青少年が自分の事業を立上げ、経営できるよう訓練と援助を提供する雇用センターを運営しています。サービスは無料で提供されています。

— 青少年求職者クラブは、フランスのビトレ・ロータリー・クラブと同国政府の失業対策局との共同事業です。参加者は雇用意志のある企業をどこでも全て順番に訪問し、管理職や人事部長と出会い、訪問先で小型の履歴カードを置いていきます。求職者は週に一回集ま

って、各自の進捗状況を把握し、カウンセリングや模擬面接試験の形で直接的な援助を受けます。ビトレ・ロータリー・クラブは、青少年がレストランやホテルで地元の実業家の注意を引くことができるよう名刺サイズの小型履歴書の作成を賄いました。

— ドイツ、バッド・ホンブルグ-クアパーク・ロータリー・クラブは、卒業後一年間就職先を見つけることのできない約4万人の大卒生の一部を援助する方法を発見しました。ロータリアンは、フランクフルト市内および周辺のクラブには、求職者にカウンセリングを提供できる専門職者が豊富にいることに目を留め、フランクフルトの職業安定所に連絡をしてコンサルタントとして奉仕する許可を得ました。クラブ会員が後援し、職探しの方法や、申請書類の記入、面接試験などについて若者たちの援助を提供しました。

中小企業育成

中小企業は最近、大きな注目を浴びつつあるようですが、中小企業の貢献は決して目新しいものではありません。中小企業は就職の機会を創出し、制度や技術の革新の源となってきました。米国だけでも、中小企業は農業を除く民間労働力の53%を雇用しています。雇用機会の創出や地元経済の活性化などのゆえに、中小企業発展の推進は理にかなうことです。

設立されたばかりの企業は、資金、物質、人材などの援助から利益をうけることがよくあります。ロータリアンはこれらの企業に援助を提供する重要な用具である、ミクロクレジットとも呼ばれる回転ローン資金を持っています。回転ローン資金プログラムは、貧しい地域に設置され、事業を始めたいが、市中銀行のローンを利用できる実績のない人に少額の貸付けを行なうものです。借りた資金は直接回転ローン資金に返済され、その地域で次の貸付けに使われます。事業の開始や拡張の手助けをし、こうした事業者が経済的に独立できるよう援助するのがこのプログラムの目的です。専門知識と長期的な誓約が必要であるため、回転ローン資金を運営するロータリー・クラブは、他の団体と協力して行なうよう推奨されています。

■ *プロジェクトのアイディア*

— コンピューターを使ったマーケティング用資料の作成や、利益増大に向けた組織編成などを主題とした研修会を開催する。

— 小売業、サービス業、製造業のための市場調査、市場の識別、事業計画、ローン取得、予算編成、スプレッドシートの作成、国際貿易、製造、在庫管理、キャッシュフロー分析、一般経営などについて、事業家に無料のカウンセリングを提供する中小企業センターを設置する。

— 次のような項目についてアドバイスする冊子を用意する：
- 独立事業の開始：あなたのアイディアをテストする方法
- 起業
- 資金：どこでどうやって手に入れるか
- ローン申請のための事業計画作成法
- 数値で事業を理解するには
- 零細企業のためのマーケティング

プロジェクトの例

— オーストラリアのロータリー・クラブはオペレーション・ライブワイヤーに参加しています。このプログラムは、18歳から25歳の青年男女による最も基本的な営利事業から新技術の開発にわたる様々な独立事業の設立を奨励するものです。若い事業家たちは銘々、彼らに3ヶ月間アドバイスを与える指導者を割当てられています。最も優れたアイディアには賞金が与えられ、参加者の多くは、成功裏に自分たちの事業を設立しています。

— フィリピンでは、ルルドの聖母マリアRVC多目的協同組合が零細企業の立上げと経営維持を支援する回転ローン資金プログラムを設立しました。当初の資本金は、ルルドの聖母マリア・ロータリー地域社会共同隊を後援するノーザガレー・ロータリー・クラブの会員の寄附金、および子供たちが学校でのお小遣いから献金した「オペレーション・ティピッド・インポック」と呼ばれる共同隊のプログラムから拠出されました。

— 「プロジェクト・メインストリーム」はインドのムンバイのストリート・チルドレンに、小事業を始める訓練と資金を提供するとともに、運転手やガード、家事の仕事に関心のある者に職業訓練を提供しました。ワークショップでは、10代の若者に、茶の販売、サンドイッチ作り、靴磨き（修繕）、フラワー・アレンジメント、魚売り、製本などの営業方法や利益ある事業経営を行なうコツを教授しました。このプロジェクトはロータリー財団の3-H補助金、ボンベイ・ロータリー・クラブ、トロント・ロータリー・クラブおよび外部の寄付により賄われました。

従業員への支援

従業員の健康と福利は、生産性にかかわる中心的要素です。従業員の生活に影響する問題についての情報を提供することによって、彼らに個人的な違いをもたらし、かつ組織や企業への献身を高めることにつながります。多くの従業員は、読み書きや計算能力のような基本から、さらに進んだコンピューターや通信技能など、特定の技能を向上したいと考えています。また、アルコール中毒や薬物濫用、HIV/エイズのような健康問題について質問のある人々もいます。ロータリアンは、これらの問題の解決に貢献することができ、従業員個人の生産性と満足度を高める一助となることができます。

専門職の育成

世界経済の多くが製品の生産からサービスの提供に主眼を移す中で、管理、営業、サービスの分野でより多くの職が創出され、より多くの労働者に、より高い教育水準が求められています。一方、発展途上国では、職場で訓練や安全のための手順がよりよく伝達されるよう、少なくとも基本的な読み書きと計算能力のある労働者が求められています。

ロータリアンは、コミュニケーション技能、コンピューター、その他の技術面での技能を向上することによって、従業員を支援する訓練プログラムを開始し、各自の職場で、またより大きな地域社会で、専門職の育成を推進することができます。識字率向上プログラムをロータリアンの事業所に設置することもでき、またロータリアンの援助の下で、学校その他の地域社会団体が開始するようにすることもできます。

薬物濫用とアルコール過飲

薬物濫用の習癖のある従業員は、各自の問題を家庭に置いてくるのではありません。薬物濫用やアルコール過飲は、職場でも、労働意識、業績、事業へのコストなどの点で破壊的な影響を持ち得ます。事業の所有者は、明らかな問題が見られないために、「麻薬のない職場」プログラムを活用する必要はないと考えがちですが、物質濫用の問題を抱える従業員がその問題を何年も隠して、現金、数値、顧客の扱いを担当し続けることもありえます。

「麻薬のない職場」の奨励は、高価である必要はありません。コストがほとんど、あるいは全くかからない小さな手順により、企業の資金節約になるとともに、従業員の健康、労働意識、福利の向上につながります。ロータリアンの事業所が成功するための鍵には、アルコールや薬物について明快で一貫性のある方針を打ち出し、従業員支援プログラムを提供することなどが含まれます。

エイズ

UNAIDS（国連共同エイズ・プログラム）によれば、世界で3100万人の人々が致死性のエイズ・ウイルスに感染しているということです。この3分の2はアフリカの症例で、増加率が最も高いのはアジアです。ジンバブエでは、エイズは成人4人に1人の死因となっています。ボツワナでは、妊婦の43%はHIV陽性です。インドは世界で最もHIV感染者数が多く、400万人います。治療法はないものの、希望はあります。それは、職場でのエイズ予防運動です。エイズ予防を強調したジンバブエの工場における研究では、新規感染率が3分の1以上減るという成果を見せており、これにかかった経費は年間従業員一人当たりわずか米貨6ドルでした。

プロジェクトのアイディア

— 薬物やアルコールの問題について見極めたり、労働者の援助をしたりする従業員支援プログラムへの出席を推進する。

— 読み書きの訓練を必要とする地元企業を見つけ、コースの管理運営を援助する。

— 学校や職場で実施できるエイズ啓蒙プログラムを開発する。

プロジェクトの例

— 米国ニュージャージー州メンハムズ・ロータリー・クラブは、郡の刑務所に識字率向上センターを設置しました。ある地元企業がコンピューター3台を寄付し、クラブ会員が特別な識字率向上ソフトを購入してインストールしました。囚人は週に10～12時間コンピューターで学習し、教育水準を向上するとともに、釈放される時には変化しているであろう外の世界に後れを取らないようにしています。

— インドのデリー南コスモポリタン・ロータリー・クラブでは、公立学校の教師のためにエイズ啓蒙ワークショップを企画しました。ワークショップでは、エイズの医学的歴史やエイズにかかわる迷信についての正しい知識を提供し、人間の体や性について、生徒と正直な討議を行なうことの重要性を強調しました。

— 米国アラバマ州バーミングハム・ロータリー・クラブは、諸企業から文書化した薬物試験方針をとりよせ、地元企業が利用できるファイルを作成しました。企業はそこにある方針を検討し、事業規模や業種に合ったものを選びます。参加者は、新方針の導入後、仕事場での事故率が劇的に下がったと報告しました。

障害者のための職業機会の創出

多くの障害者に対する偏見は不運にもいまだ消えないために、障害を持つ人々は意義のある仕事の機会を見つけることができません。一部の雇主は、障害者は他者ほど生産性を発揮できない、または特別な待遇が必要だ、と感じています。地域社会の実業界の指導者として、ロータリアンは、これらの固定観念を打破し、すべての労働者に開かれるべき意義のある地位を探求できるよう障害者の人々を援助できる立場にあります。

プロジェクトのアイディア

— 障害者雇用の便益を実証する広報用資料（ビデオやパンフレット）の作成

— 雇主による障害者にアクセスしやすい職場づくりを援助するキャンペーンの開始

— 通勤に難のある障害者への交通手段の提供

■ *プロジェクトの例*

— ブラジルのカイクサ・ド・スル・センテナリオ・ロータリー・クラブと、「身障者の親と友人」支部が地元企業や労働組合と一体となって視覚障害者が労働市場で足がかりを得るための援助をしました。このプロジェクトは雇主教育や職業斡旋を通して、視覚障害者の地域社会への統合を助けました。

— 米国ニューヨーク州のオールバニー・ロータリー・クラブは、「障害者のための就業機会」と題した地元の雇主向けの年次シンポジウムを後援しています。毎年4月に開催されるこのシンポジウムの主眼は、さらに多くの実業家が障害者を雇用し、その便益について語るよう奨励するものです。会合は出席者に就職の橋渡しも行なうほか、地域社会におけるロータリーの可視性を高めています。

— 米国カリフォルニア州サンタローサのロータリアンは、1984年以来、企業が障害者を雇用するよう奨励する活動を行なってきました。企業経営者が就業見込みのある人々の障害ではなく、能力をみることができるよう助ける年次シンポジウムを開催しています。これまで、他にも米国各地の20余のロータリー・クラブがこのアイディアに賛同し、サンタローサ形式を基にしてシンポジウムを開催し始めました。

退職者との協力

多くの従業員は退職と同時に自分が社会から切り離されると感じています。一部の人は、まだ退職する心積もりができておらず、もしろ職場で自分の技能を伸ばし続けたいと思っています。ロータリアンは、社会の最も経験豊かな人々を職場に残すために、そして彼らが人生をエンジョイできるように、技能研修のほか社交や奉仕の機会を提供することができます。

■ *プロジェクトのアイディア*

— 元管理職の退職者と、経験豊かな人物の指導を求めているような経営難の中小企業とを引き合わせる。

— 引退した実業家に、興味を同じくする他の退職者と定期的に会う場を提供するプロバス・クラブを提唱する。

— 早期退職を余儀なくされた労働者に事業立上げの指導を提供する。

■ *プロジェクトの例*

— カナダのケベック州ショービル・ロータリー・クラブは、地元の高齢者を対象に、コンピューター入門コースなどを提供する地域社会奉仕プロジェクトを企画しました。プロジェクトは、高校生が参加して高齢者の指導を手伝ったため、世代間の交流も促進しました。8週間が終わる頃には、受講者全員がコンピューターを使って、手紙を書き、家計簿のスプレッドシートを作成し、電子メールの送受信を行なっていました。

— ノルウェー、ソーラムサンドのロータリアンは、退職者と地元の福祉団体を引き合わせるプロジェクトを組織しました。その要旨は、退職者に他の退職者を助ける機会与えるというものでした。たとえば、元弁護士の退職者が、高齢者に法律上のアドバイスを与えたり、元精神科医が他の高齢者に援助を与える、といった具合です。

— 第9830地区（オーストラリア、タスマニア）のロータリアンとプロバス・クラブの会員は、個人指導資源と呼ばれるプログラムに参加しています。このプログラムは、援助を必要とする中小企業に対し、個人指導者として活躍する能力と意欲のある優れた実業家や専門職者の包括的なリストを作成しました。

ロータリー・ボランティア

ロータリー・ボランティアの目的は、地元地域社会と他の地域社会内で得られるボランティアの機会についてロータリアンの理解を深め、クラブ、地区、国際レベルでホランティア活動を支援する手段をロータリアンに提供することです。

- クラブ・レベルでは、ロータリー・ボランティアの中心は地域社会内に置かれます。クラブのリーダーが、ロータリー・ボランティア・コーディネーターあるいは委員会を任命し、そのコーディネーターや委員会が、ボランティアとして奉仕できる地域社会内の組織、プログラム、プロジェクトを調査し、クラブ会員とニーズを組み合わせます。
- 地区レベルでは、地区職業奉仕委員会または地区ロータリー・ボランティア小委員会は、ボランティアと地区規模のニーズ、一つのクラブでは扱いきれないような大規模で専門的なプロジェクト（例えば天災などのとき）を組み合わせます。地区委員会はまたクラブが独自のロータリー・ボランティア制度を確立するのを援助します。
- 国際レベルでは、ロータリー・ボランティア・プログラムは、海外のボランティアを必要とするプロジェクトと、他国のプロジェクトに従事したいロータリアンの情報ネットワークの役割を果たします。年に2度、RIは、海外からのボランティアの援助を必要としているプロジェクトのリストと奉仕を望むボランティアのリストを発行しています。ロータリーの提唱する実施地で奉仕の機会を見つけることのできないボランティアに、奉仕の場を与え、訓練し、装置や資金を提供する組織のリストも毎年発行されています。

ロータリー財団は、有資格の国際ボランティアに往復航空運賃とささやかな日当を支給するロータリー・ボランティア補助金を提供します。これらのボランティアは、4週間から8週間奉仕する意志があり、プロジェクト実施国のロータリー・クラブの招請状を有する必要があります。助成を受けるのは、一般に、ロータリアン、ローターアクター、ロータリー財団学友ですが、状況によってはロータリアン以外の人にも一定の資金が支給されることもあります。他国でのプロジェクトにおける直接的奉仕に対してボランティアに1年間助成を行なう長期ロータリー・ボランティア補助金が、1998-99年度から3ヶ年の試験プログラムとして利用可能となりました。このプログラムは、シェア・システムによる地区財団活動資金を通じてだけ資金を調達できるもので、ボランティア1名につき、米貨20,000ドルの補助金を配分します。

高度の道徳的水準と四つのテスト

職業奉仕の第一の目標は、ロターリーの高度な道徳的水準を推進することです。ロータリアンが水準の評価に用いる2つのツールは、「四つのテスト」と「職業宣言」です。

四つのテスト

「四つのテスト」は、米国イリノイ州シカゴ・ロータリー・クラブの会員で1954-55年度国際ロータリー会長であるハーバートJ. テイラー氏によって1932年に考案されました。企業を倒産から救う仕事を任されていたテイラー氏は、企業を再興するための自分の行動を監視する手法としてテストを作成しました。このテストの成果がとても役に立ったことに喜び、タイラー氏は他者にも分かち合い始め、1943年にはRI役員会が職業奉仕理念の公式要素をすることを決議しました。

規範や信条というよりは、このテストは質問の形態をとっています。これらの質問に回答し、親善の推進や、道徳的な事業・職業水準を維持するための手引きとして使うのは各個人次第です。

職業宣言

職業宣言は、ロータリーの綱領で求められている高度の道徳的水準をより明確に定義するものとして、1989年規定審議会で採択されました。職業宣言は「四つのテスト」とともに、すべてのロータリアンが各自の事業活動、専門職活動を照らし合わせる道徳的挙動の枠組みを提供するものです。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか

職業宣言

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

1. 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実ともに忠実であれ。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他の事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
5. 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
6. 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
7. 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

職場での人格を養う

ビジネス界のリーダーとして、また専門職界で尊敬される人物として、ロータリアンは職場をロータリーの高度な道徳的水準を推進する手段として利用し、従業員、同僚、公衆の間でも人格を培うことができます。仕事に関わるあらゆる交わりが、方針に則る行動を推奨する機会となります。

- 採用、訓練、評価の手続きの一部として、正直さ、責任の所在、公正さ、敬意などについて話し、それらを強調する。
- 社内コミュニケーション（ニュースレター、掲示板、覚書等）で、職場の内外での模範的な振る舞いを称賛し奨励する。
- 顧客、ベンダー、同僚との関わりにおいて、人格と道徳感の高さをいかに重要視しているかを伝達し、実証する。

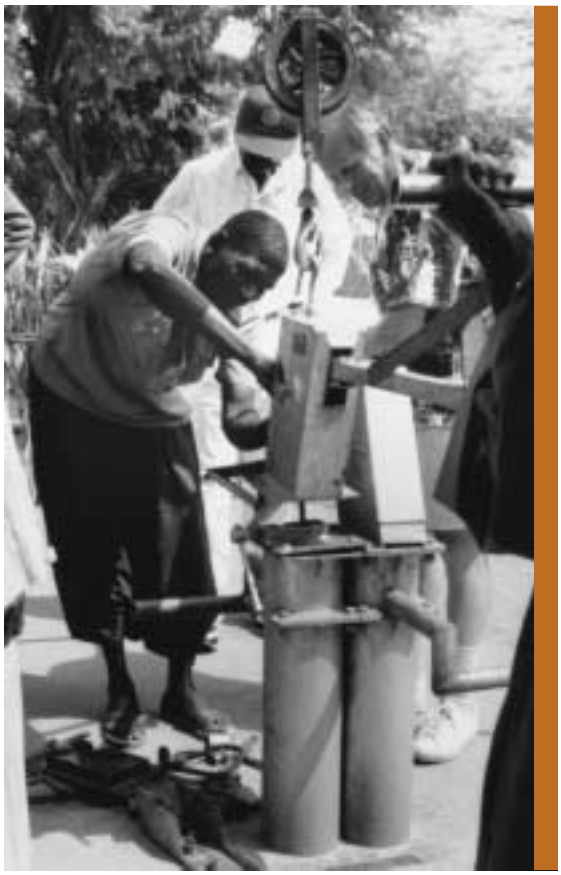
プロジェクトのアイディア

— 地域社会でよく人目につく掲示板に四つのテストを掲示し、これを推進する。

— 四つのテストを自分の生活にどのように適用できるかを説明する高校生の作文コンテストを主催する。

— 地元のビジネス・リーダーが高度の道徳的水準の維持とそれが企業の損益にもたらす影響を話し合う会議を企画する。

プロジェクトの例



— 第2170地区（ベルギー）の職業奉仕委員会は、「専門職の世界における道徳感」とい資料キットを作成しました。これは、クラブが専門職における道徳感の分野で新しいイニシアチブを開発するよう奨励することを目的としています。このキットには、商取引倫理の開発や四つのテストについての説明、多国籍大企業の方針に倫理観がどれほど重要な役割を演じているかについてのエッセイ、ある企業が独自の倫理規程をいかに開発したかについての説明など、著名な実業界のリーダーを取上げた様々な情報が選ばれています。

— 地元ロータリアンと共同で、ブラジルのボトゥカトゥ市政府は10月の一週間を専門職倫理週間として公式に指定しました。この週には、専門職のリーダーたちが講演を行ない、職業生活の全面に影響する倫理的な問題について語りました。ロータリアンは他の奉仕団体や専門職団体、法律事務所、政府・非政府団体と協力して、地域的、全国的、国際的に著名な講演者を呼びものとする催しを企画しました。

— 米国テキサス州のキリーン・ハイツ・ロータリー・クラブは、地元の中学校で900人の生徒に道徳、価値観、リーダーシップを指導するチャレンジ・コースを開催しました。40人以上のクラブ会員が人生体験や、いかに道徳的価値が各自の業務に影響するかについて生徒たちに語りました。四つのテストを基にしたこのコースは、組織作りの技能、感情的知性の養成、マナー、紛争解決、学習技能、寿命認識などを指導しました。コースの目的は、成功例を示し、目標設定や勤勉さが成功につながったことを示すことでした。

10月：職業奉仕月間

10月は、ロータリー年度の中で職業奉仕が特に強調される月間です。クラブは職業奉仕の理念を各ロータリアンに、そして一般社会に推進するような活動を企画するべきです。

職業奉仕プロジェクトは、ロータリー・クラブが肯定的に広報される結果を生みます。職業奉仕月間に次のような行事の一つを行なうことを検討してください。

- 従業員や公務員に職業奉仕賞を授賞して称える。
- 地域社会中で最も礼儀正しい公務員や民間従業員を表彰するコンテストを実施する。
- ロータリアンの事業所で一日を過ごすよう生徒を招待する。

この月間に会員の職業意識を高めるために、クラブ例会でプログラムを発表しましょう。会員に25ページのテストを配布するのもよいでしょう。

職業奉仕月間 20分プログラム

推奨形式*

1. 好みでOHPシートやスライドを活用した職業奉仕演説（下記）（10分）。
2. 参加者を交えた体系的な討議（10分）。

* 変化を生み出すロータリー・ボランティアを描く長さ16分の「活動するロータリー：ボランティア（ビデオ）」(386-JA）を見せるのもよいでしょう。

プログラムの準備

1. 職業奉仕演説を予め読み、好みで自流にする。
2. 演説にOHPシートを使いたい場合は、トラペン用プロジェクターとスクリーンを用意する。
3. この文献や、*ロータリー・ボランティア要覧*（263-JA）、*「楽しみましょう」*（趣味・職業別親睦活動のパンフレット）（728-JA）などの資料を配布したいと思う場合は、RI Publication Order Service（電話：847-866-4600；ファクシミリ：847-866-3276）か最寄りのRIサービス・センターで注文することができます。職業宣言は本書の26ページにあります。
4. 体系的討議の質問を予め読む（31ページ参照）。
5. 好みで特別な結びの言葉を考える。

職業奉仕

- 高度な道徳的水準
- 全ての有用な職業の重要性を認識
- 職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる

職業奉仕演説のサンプル

（地元のプロジェクトの例を是非含めるようにしてください。）

職業奉仕は、ロータリーが、すべての職業に従事する人に奉仕の理念を適用するよう促進・支援する手段です。ロータリー・クラブとその会員は、あらゆる有用な職業の重要性を認識し、各自の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる責務を認識し、ロータリーの原則である高度な道徳的水準に則って各自の事業や専門職務を行なうという任務を与えられています。

しかし、どうすれば、この職業奉仕の理念が活発なクラブ奉仕を通して実証されるでしょうか。たとえば、ロータリアン雇主の設ける基準から、優れた人格について学んだ従業員のことを想像してみてください。職業上の優秀さのために地元ロータリー・クラブから表彰される地元の高校教師や、リーダー的素質があり、奨学金を受けた生徒のことを想像してみてください。あるいは、地元ロータリー・クラブの開催した職業見本市に参加したことから、エンジニアリングに興味を持ち始めた生徒や、時間を割いて個人教授をしたり、励ましを与えた地元ロータリアンの個人指導者としての影響のゆえに、学校を続けることができた生徒のことを想像してみてください。

これはすべて、ロータリアンが地域社会の模範としての役割を自覚して、正直さ、尊敬、誠意という非凡な人格を内から見せているからこそ、可能となっています。新技術が爆発的に現れ、教育の質は低下しているかのように見られる世界で、ロータリアンは広がり続ける職業選択肢の分野で先頭にたって導きを与えることができます。ロータリー・クラブは、職業情報、職業活動表彰、就職相談、職業指導という4部門に活動を集中するよう推奨されています。

職業情報

- 職業分類談話
- 会員の事業所を見学

職業活動表彰

- 職業上の優れた実績
- 高度の道徳的水準

就職相談

- 青少年の雇用
- 実習
- 職業計画
- 成人再教育

職業指導

- 雇用
- 退職者
- 薬物、アルコール、識字問題
- 障害者
- 道徳的水準

職業奉仕は、世界社会にも拡大しうるものです。皆さんの職業上の専門知識や経験を、ロータリー・ボランティアとして、あるいは職業別親睦活動の形で提供することは、自身の職業技能をさらに向上するとともに、世界中で地域社会のニーズに寄与することができます。詳しい情報は、*「ロータリー・ボランティア要覧」*（263-JA）と*「ロータリー趣味・職業別親睦活動要覧」*（729-JA）を参照してください。

ロータリー・ボランティア	*親睦活動*
• 技術的、専門的援助 • ロータリー・クラブやその他の団体のプロジェクトで奉仕	• 歯科、法律、製紙、薬理学などの職業別 • カヌー、グルメ、奇術、写真などの趣味別

討議する質問

- 職場で高度な道徳的水準を推進するためにロータリアンはどのような現実的な手順を踏むことができるでしょうか。
- ロータリアンはどのようにして、新世代に高度な道徳的水準と誠意ある人格を育むよう奨励することができるでしょうか。
- すべての職業に対する評価を示すために、ロータリアンはどのようなプロジェクトを実行できるでしょうか。
- ロータリアンが職業上の技能によって対処できる地域社会のニーズにはどのようなものがありますか。
- 職場での緊要な問題としてどのようなものがあり、ロータリアンはこれらの問題にどう対処できるでしょうか。
- 障害者の雇用機会と労働条件についてロータリアンはどのような援助ができるでしょうか。エイズ患者についてはどうでしょう。
- 退職者が活発であり続けるために、ロータリアンはどのような手助けができるでしょうか。

討議の司会の仕方

- 会合で提示する議題や事例研究を一件に絞る
- グループを急がせず、メンバーに考える時間を与える。
- グループに質問を返し、各自の意見が相互に影響し合うようにする。
- 要点をさらに説明することや、具体的な例を挙げることを要請する以外に、発言中に割り込まない。参加者が自分自身の問題について話した場合は、その発言者や他のメンバーに解決策を提案させる。
- 適切な間隔をおいて要約を行い、さらに掘り下げた討議への踏み台を与える。
- 必要であれば、視野を広げるために副次的な問題も紹介し、メンバーがさらに多くの事例研究をしたいと考えるようにする。
- 参加者の中からグループの記録係やスポークスパーソンを任命する。
- クラブ掲示板で結果を報告する。

国際活動

ロータリー・ボランティア

ロータリアン、ローターアクター、財団学友が、登録のうえ、国際プロジェクト実施地を探しますと、ロータリー財団のロータリー・ボランティア補助金を通じて資金を申請する資格があります。4週間から8週間の予定で奉仕する登録されたボランティアに、最も安価な往復航空運賃と最高米貨50ドルの日当を財団が支給できます。

ロータリー趣味 職業別親睦活動（RRVF）

趣味・職業別親睦活動は、特定の趣味または専門職務について結成されたグループで、ロータリアン自らが管理するグループです。趣味別親睦グループは、ロータリアン夫妻が世界中の同好のロータリアンと共にその趣味を楽しむ素晴らしい機会を提供しています。職業別親睦グループは、ロータリアンが国際規模の専門職務団体に入会する機会を提供しています。ロータリアンは、この団体を通じて、奉仕プロジェクトに着手したり、情報を交換したりできます。両方併せて、約80位の親睦グループがあり、毎年、その数が増えています。

職業奉仕
プロジェクト書式

あなたのクラブや地区に、成功を収めた職業奉仕プロジェクトがあれば、お時間を割いて、この短いアンケートにお答えください。皆様からの回答は、職業奉仕に関する資料やその他のRIの出版物で紹介されることがあります。

この書式をコピーして、他のロータリアンに配布していただいても結構です。

世界中のロータリアンが皆様の経験から学ぶことができます。

1. どのような種類のプロジェクトでしたか？ *（該当するすべてのものに印をつけて下さい）*

_____ 職業情報
_____ 職業活動表彰
_____ 就職相談
_____ 失業者への援助
_____ 退職者と共に活動する
_____ 薬物/アルコール濫用防止
_____ 職場での識字能力不足の問題
_____ 障害者への機会提供
_____ HIV/エイズ教育
_____ 高度な道徳的水準・四つのテスト
_____ ロータリー・ボランティア
_____ その他： _____

2. そのプロジェクトが対処した地域社会や職場のニーズは何ですか/でしたか？

3. そのプロジェクトについて、いつ、どのようにして開始されたかなど、簡単に説明してください。

4. 現在までの成果はどんなものですか？

5. プロジェクト開始日：_____ 完了日：_____

6. 写真がありますか？RIの出版物に掲載してもよろしいですか？もしよければ、この書式の返送の際に同封してください。

7. あなたのクラブ/地区は、他の機関や組織と協力しましたか？その場合は、次の点を明記してください：

   a) 組織の名称と住所_____

   _____

   b) あなたのクラブ/地区とその組織は、どのように協力しましたか？_____

   _____

   _____

   _____

   _____

   _____

   追加コメントまたは質問：

この書式を下記に返送してください：

Rotary International
Community Programs Section/CP210
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, Illinois 60201, USA
ファックス: 847-866-6116

プロジェクトの連絡担当者名_____

住所_____

_____

電話番号 _____ ファックス_____

ロータリー・クラブ_____ 地区番号 _____

私は、私の氏名と住所が、ロータリーの出版物とインターネットのRIホームページに掲載されることを許可します。

署名_____ 年月日 _____

RIの資料とプログラム

職業宣言（200-JA）

四つのテストの適用（502-JA）
四つのテストーポケット型（515-JA）
四つのテストー額入り用（517-JA）
四つのテストーデスク・プラーク（518-JA）

ロータリー趣味・職業別親睦活動要覧（729-JA）
楽しみましょう（728-JA）

ロータリー・ボランティア要覧（263-JA）
ロータリー・ボランティア援助団体名簿（288-JA）
ロータリー・ボランティア国際プロジェクト実施地リスト（279-JA）
ロータリー・ボランティア国際ボランティア登録リスト（280-JA）
活動するロータリー：ボランティア（ビデオ）（386-JA）
ロータリー・ボランティア国際ボランティア登録書式（284-JA）
ロータリー・ボランティア国際プロジェクト実施地登録書式（285-JA）

高齢者への心づかい

ロータリー・クラブは、高齢者の社会的、身体的、職業上のニーズに対処するよう奨励されています。高齢化に焦点を当てたプロジェクトを計画する際には、体の虚弱、孤独、経済的な不安などの問題に対処しながら、高齢者が退職後も活発で生産的であり続けられるような方法を提供することを検討してください。ロータリー・クラブに推奨されている活動であるプロバスは、55歳以上の退職者や半退職者で、同じような関心を持つ人々に出会う機会を喜び、時事問題についてゲスト講演者の話を聞くのが好きで、お互いに興味のある場所を訪問するのを楽しみにしているような人々に定期的会合の場を与えるものです。

「経験に学ぶ」（621-JA）

薬物濫用・アルコール過飲防止

欠勤、仕事中の事故、疾病給付や償還の請求などの割合を高めるなど、物質濫用は、職場に数多くの問題をもたらします。仕事中に薬物を摂取すると、誤まった危険な行動を起こし、危険な労働状況につながる場合があります。ロータリー・クラブは地域社会や職場で薬物・物質濫用を削減するための奉仕プロジェクトを実施するよう奨励されています。

「薬物濫用と闘う」（627-JA）
「薬物濫用防止」（628-JA）

HIV/エイズ

HIV/エイズは、世界で多くの男女子供を死に至らしめており、しかもまだ治療法は発見されていません。ロータリー・クラブは適切な範囲で政府の保健機関や非政府組織と協力し、HIV/エイズについての人々の意識を高め、教育・予防プログラムを実施するよう推奨されています。HIV/エイズは労働力という人的資本への脅威でもあります。職場での教育や、職場を通した教育は、伝統的な保健教育プログラムの対象外の人々にも及びます。

「エイズ問題に対応するロータリー」(604-JA)

飢餓と貧困

貧困は飢餓や病気を引き起こして身体に障害を与える疾患です。教育、職業訓練、収入を得る機会を通じて、人々は家族を貧困から救う機会を与えられます。

「ロータリーを通じて飢餓、貧困と闘う」(307-JA)

識字率向上

機能的識字能力は、社会生活の全面に完全に、尊厳をもって参加するために必要な読書きの技能を持つという各個人の権利です。生活の糧を得、社会の要求に応え、日常生活で直面する問題を解決するために、必要不可欠な道具です。機能的識字能力と計算能力の推進に、職場は中心的役割を果たします。

「識字率を高めるロータリー」(601-JA)

環境保全

実業界で、環境問題がますます重要な位置を占めています。環境にやさしい工程や材料の使用、リサイクル、地球の多様な生物を保護することは、環境保護の一環です。

「環境保全要覧」(378-JA)

回転ローン資金（RLF）

回転ローン資金（RLF）は、事業を始めたいが商業銀行のローンを利用できる実績のない人に少額の貸付けを行なうものです。RLFは事業のスタート、拡張の当初の資金を提供するものです。最終目標は、こうした事業者が経済的に独立し、商業銀行から貸付けを受けられるようになることです。借りた資金は直接回転ローン資金に返済され、次の貸付けに使われます（そのため、回転ローン資金と呼ばれます）。

「回転ローン資金の手引き」(163-JA)

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）

RYLAは年齢14歳から30歳までの若い人達を対象に、ロータリアンが地元で主催する指導者養成プログラムです。RYLAの参加者は、ロータリーの全額負担により3日から10日間の研究集会に出席します。その研究集会では、指導力養成および特定の年齢層が興味を持つ専門知識開発に重点が置かれます。セミナーはロータリアンにより組織、運営されます。

「RYLA：指導力養成の飛躍台」（636-JA）

「ロータリー青少年指導者養成プログラム指針」（694-JA）

平和な都市づくり

暴力の増える世界で、すべての地域社会は銃による暴力、家庭内暴力、都市中心部の退廃、レクリエーション施設の欠如、飢餓、ホームレス、失業、就業能力の欠如などの問題に、程度の差こそあれ、直面しています。ロータリアンは各自の地域社会を平和な生活の場とするという課題を抱いています。

「平和な都市づくりの推進」（379-JA）

「平和な地域社会を築く」（377-JA）

世界社会奉仕

一国のロータリー・クラブが奉仕プロジェクトで他国のクラブを援助する度に、世界社会奉仕（WCS）が行われたことになります。現物拠出情報ネットワーク（DIN）には、ロータリアンに提供できる寄贈物資や関連サービスが登録されています。WCSプロジェクト交換は、「援助募集」データベースで、これを使って国際援助を求めるロータリー・クラブがその地域社会奉仕活動について広報することができます。この登録は冊子として発行されており（754-JA）、年に二度更新されます。また、RIのウェブサイト（www.rotary.org）でもご覧いただけます。

「世界社会奉仕要覧：行動への指針」（742-JA）

「世界社会奉仕プロジェクト交換」（754-JA）

「活動する国際奉仕：WCSに関するビデオによる研修」（753-JA）

「DIN支援方法の指針」（725-JA）

奉仕のパートナー：インターアクトとローターアクト

ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブが、職業奉仕活動で協力する理想的なグループであることがよくあります。ロータリー・クラブの提唱によるローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、それぞれ年齢が18～30歳、14～18歳で、親睦と奉仕を通して世界理解を推進することに献身しています。彼らはロータリー後援の職業セミナーについて、級友や友人に知らせたり、職業に関する青少年のニーズ

についてロータリアンの理解を助けたり、ロータリー後援の職業相談所でボランティア奉仕をしたり、コンピューターの基本クラスで成人の個人教授をしたり、他にもいろいろな奉仕ができます。

「インターアクト必携」（654-JA）

「友愛の楽しみ」（600-JA）

「友愛の楽しみ（ビデオ）」（650-JA）

「ローターアクト必携」（562-JA）

「ローターアクト：友情と活動」（663-JA）

ロータリー財団の資源とプログラム

同額補助金、カール・ミラー助成金、3-H補助金は、国際奉仕プロジェクトの支援のためにロータリー財団の提供する資金援助の一部です。皆さんのクラブや地区が国際的な職業奉仕プロジェクトの実施を検討している場合は、これらの補助金の一つに申請することを考慮すべきです。各補助金には独自の制約と限度があり、要件と申請手続きについての詳しい情報は、ロータリー財団から入手することができます。

ロータリー・ボランティア補助金

この補助金は、熟練したロータリアンから専門的なアドバイスや援助を必要とするクラブや地区を援助するために必要な資金を提供します。このプログラムはボランティアが彼らの技能の必要とされる国で4～8週間滞在するための交通費と関連経費を支給します。

大学教員のための補助金

開発途上国で教鞭をとる大学教員への補助金は、教育とボランティア奉仕を合体させたものです。この補助金は、経験豊富で熱心な教員が、受入国に有用なコースを教えることができるようにします。

研究グループ交換（GSE）

GSEを通して、ロータリアンではない実業家や専門職務に就く男女4人と、ロータリアンのチーム・リーダーから成るチームが、4～6週間お互いの国を訪問し合います。ロータリアンの家庭にホームステイし、文化を味わいながら、制度について学び、各自の専門職の実践の様子を観察します。

職業奉仕についてのあなたの知識のテスト

1. ロータリーの倫理規定が最初に採択されたのは何年のどの大会でしたか？

2. 1989年には、道徳的挙動についての改訂文が規定審議会で採択されました。この文書は何という名前のものですか？

3. 1992年7月の時点で、ロータリー・ボランティア・プログラムは、どの奉仕部門に入りますか？

4. 職業奉仕への積極的参加に関する新しいステートメント/方針がRI役員会により発表されたのは、何年でしたか？

5. 四大奉仕部門は何ですか？

6. 四つのテストは1932年に簡単な倫理テストとして始まりました。これを考案したのは誰ですか？

7. 職業分類は、特定の個人の地位ではなく、社会に対する活動や奉仕によって判断される、というのは正しいですか、間違っていますか？

8. ポール・ハリスの職業は何でしたか？

9. 1905年に、ポールは3人の若いビジネス上の知り合いと会い、事業や専門職務の隔たりを超えて親睦を育むような実業家のクラブを作りたいというアイディアを説明しました。これが最初のロータリー・クラブの会合となりました。その日付はいつでしたか？

10. 1937-38年度に、職業奉仕は「職業奉仕週間」の特別祝典によって認識されました。この行事はロータリー世界中で一ヶ月にわたる記念となりました。職業奉仕月間として指定されているのは何月ですか？

11. 地区職業奉仕の機構のもとで推奨されている5つの小委員会とは、何ですか？

回答

1. 1915年、サンフランシスコ
2. 職業宣言
3. 職業奉仕部門
4. 1987年
5. クラブ奉仕、職業奉仕、地域社会奉仕、国際奉仕
6. ハーバートJ. テイラー1954-55年度RI会長
7. 正しい
8. 弁護士
9. 1905年2月23日
10. 10月
11. 就職相談、職業活動表彰、職業情報、職業指導、ロータリー・ボランティア

目次

職業奉仕の紹介	1
沿革	3
職業奉仕プロジェクトの計画	5
職業奉仕分野の小委員会	11
職業情報	11
職業活動表彰	13
就職相談	14
職業指導	18
ロータリー・ボランティア	24
高度の道徳的水準と四つのテスト	25
10月：職業奉仕月間	29
国際活動	33
職業奉仕プロジェクト書式	35
RIの資料とプログラム	37
ロータリー財団の資料とプログラム	40
職業奉仕についてのあなたの知識のテスト	41

© 1999, Rotary International

Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, Illinois 60201 USA

509-JA—(1298)